

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	17b	食事を楽しむことのできる支援 調理専門の職員が、買い物や献立づくり、食材選び、調理、後片付け等を行っている。利用者は、お盆拭きを行っている。また、豆の皮むき等がある時は一緒にやっている。利用者が食事づくりの一連にかかわるような機会はほぼない。	利用者が食事作りの一連に関わる機会を作る。まずは月に一回でも。	まず一度食事作りに関わっていただく機会を作り、月一回の実施を目指す	3 か月	
2	37b	本人をともに支え合う家族との関係づくりと支援 特には取り組んでいない。 (家族がホームでの活動に参加できるように、場面や機会を作っている。(食事づくり、散歩、外出、行事等、家族同士の交流)について)	以前の家族会と同様の行事を行うことが目標であるが、コロナ等感染防止に配慮した形にする必要がある。(屋外で行うなど)	気候の良い秋に屋外での家族参加の行事を行う	3 か月	
3	37e	本人をともに支え合う家族との関係づくりと支援 現在は、運営推進会議の案内は家族に送っていない。行事については、毎月、写真を送ったり、ケアマネジャーがSNSで写真を送信したりしているが、事業所の運営上の事柄や出来事について報告するような取り組みは行っていない。	入居者との交流など、運営推進会議を家族にとって参加することに魅力がある内容にする必要があるが、その前に議事録などを配布し運営推進会議の存在を知っていただくところから始める。	運営推進会議の議事録を家族に配布し、運営推進会議の存在を知っていただく。	3 か月	
4	50d	災害への備え この一年間は、避難訓練は実施していない。 (地域住民や消防署、近隣の他事業所等と日頃から連携を図り、合同の訓練や話し合う機会をつくるなど協力・支援体制を確保している。)	大がかりな避難訓練だけではなく、多様な実施可能な方法を考える。(火災時のユニット間移動など)	月一回、全員の避難訓練ではなくても、防災に関わる行事を行う	3 か月	
5	51b 51e	地域のケア拠点としての機能 特に取り組んでいない。 (地域の高齢者や認知症の人、その家族等への相談支援を行っている。)(市町や地域包括支援センター、他の事業所、医療・福祉・教育等各関係機関との連携を密にし、地域活動を協働しながら行っている。)	散歩などですれ違う地域の人に挨拶をし、話ができる雰囲気を作るところから始める。	まず挨拶などで、地域の人に対して顔の見える交流を行う。	1 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。